

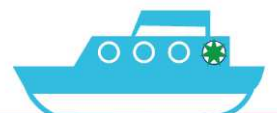
令和6年10月7日  
青森市企画部企画調整課長

## 青森公立大学 国際芸術センター青森 (ACAC)

### アーティスト・イン・レジデンス事業の開催について (情報提供)

このことについて、青森公立大学 国際芸術センター青森 (ACAC) より別添資料のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。

なお、詳細につきましては、青森公立大学 国際芸術センター青森 (ACAC) 担当 原田 (電話 017-764-5200) にご連絡いただくようお願いいたします。



青 公 大 総 号 外

2024年10月7日

青森市政記者会 御中

青森公立大学 国際芸術センター青森 [ACAC]

館長 服部 浩之

(公印省略)

**青森公立大学 国際芸術センター青森 [ACAC]  
アーティスト・イン・レジデンス事業の開催について (ご案内)**

平素より青森公立大学国際芸術センター青森[ACAC]の運営につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度 ACAC で実施する下記の事業について、ご案内致します。事業に関して開催告知広報物をお送りしますので、取材・報道にご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

記

**青森公立大学 国際芸術センター青森 [ACAC]**

**アーティスト・イン・レジデンス・プログラム 2024 “SPINNING SCAPES”**

プログラム期間：2024年10月2日（水）－12月24日（火）

展覧会会期：2024年11月30日（土）－12月22日（日）

※マギー・チュウの展示は11月14日(木)からの予定

参加アーティスト：八幡亜樹（日本）、浅野友理子（日本）、マギー・チュウ（香港）、ベアトリス・ディディエ（ベルギー）

概要：公募により選出された国内外のアーティスト4名によるアーティスト・イン・レジデンス（AIR）プログラムを開催いたします。青森での滞在制作を通し、展覧会、パフォーマンス、ワークショップなど多岐にわたる活動を展開します。

**【連絡先】**

青森公立大学国際芸術センター青森

〒030-0134

青森市大字合子沢字山崎 152 番地 6

TEL：017-764-5200 FAX：017-764-5201

# SPINNING SCAPES

Aomori Contemporary Art Centre, Aomori Public University Artist in Residence Program 2024

青森公立大学 国際芸術センター青森 [ACAC] アーティスト・イン・レジデンスプログラム2024

YAHATA Aki

ASANO Yuriko

Maggie CHU

Béatrice DIDIER

八幡亜樹

浅野友理子

マギー・チュウ

ベアトリス・ディディエ

実施期間 | Program period:

2024. 10. 2 (Wed)–12. 24 (Tue)

主催 | 青森公立大学 国際芸術センター青森 [ACAC]

協力 | AIRS (アーティスト・イン・レジデンス・サポーターズ)

助成 | 令和6年度文化庁アーティスト・イン・レジデンス型地域協働支援事業

後援 | 駐日ベルギー大使館 / 青森テレビ / 青森朝日放送 / KAB 青森放送 / 青森ケーブルテレビ / エフエム青森 / ABH ランチオ

Printed by ライラジオ局 BeFM / 東奥日報社 / 陸奥新報社 / デリー東北新聞社

Aomori Contemporary Art Centre,

Organized by Aomori Contemporary Art Centre, Aomori Public University

In Cooperation with AIRS (Artist in Residence Supporters)

Supported by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan, Fiscal Year 2024

Nominal Support | Embassy of Belgium in Japan / Aomori Television Broadcasting Co., Ltd. / KAB (Radio Aomori Broadcasting) Co., Ltd. /

Asahi Broadcasting Aomori Co., Ltd. / Aomori Cable Television, AOMORI FM Broadcasting / ABH (Aomori Bunka Housou) / BeFM / The To-o Nippo Press Co. /

MUTUSINPOU co., Ltd. / The Dairy-Tohoku Shinbun Inc.

Aomori Public University

Artist in Residence Program 2024



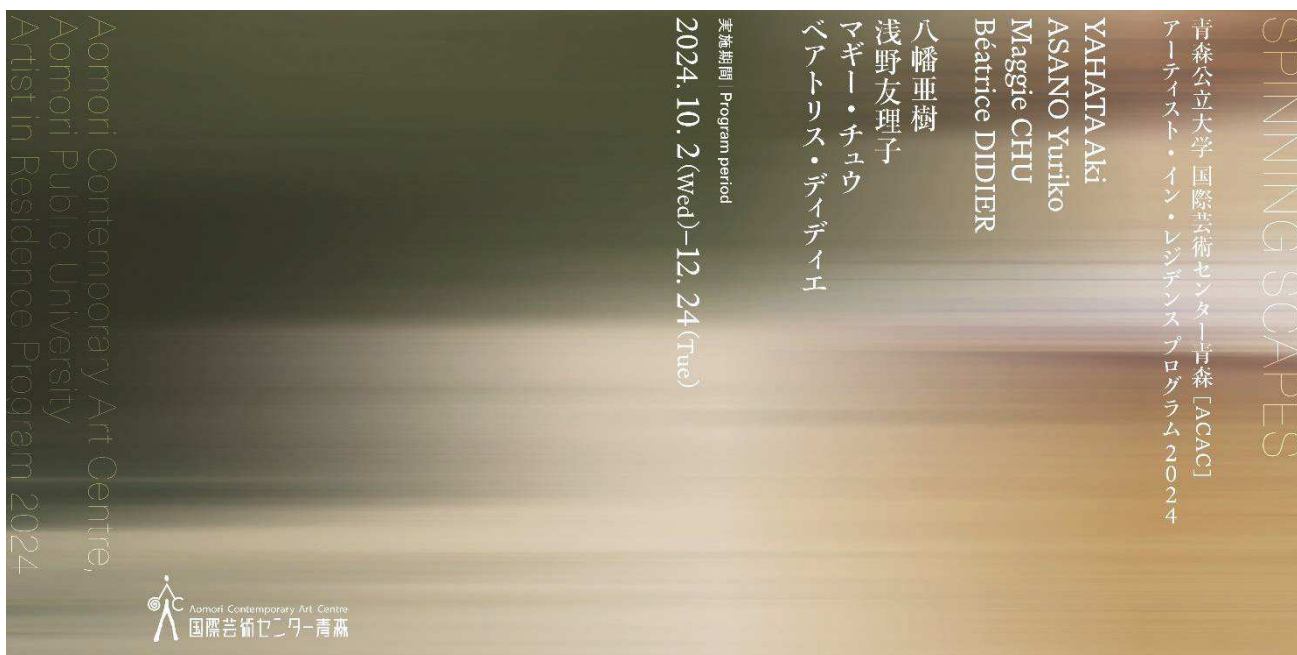
# 青森公立大学 国際芸術センター青森 [ACAC] アーティスト・イン・レジデンスプログラム 2024 “SPINNING SCAPES” (スピニング スケープス)

Aomori Contemporary Art Centre, Aomori Public University

Artist in Residence Program 2024 "SPINNING SCAPES"

プログラム期間:2024年10月2日(水)–12月24日(火)

展覧会会期:2024年11月30日(土)–12月22日(日)



デザイン:本庄浩剛

## ■ 青森での滞在を通して生まれた作品を発表します！

国際芸術センター青森(ACAC)は 2001 年 12 月の開館以来、アーティスト・イン・レジデンス(AIR)のプログラムを柱に、様々なジャンルのアーティストによる創造と発表の場として活動を続けています。今年度の公募型アーティスト・イン・レジデンスプログラムではゲスト審査員に美学芸術学・ランドスケープを専門とする近藤亮介氏を迎えました。応募件数 495 件の中から選出された 4 名のアーティストが ACAC で滞在制作を行います。

今年度のプログラム名称「SPINNING SCAPES」は、名詞と複合語をつくり「～の風景」の意となる「scape」に、勢いよく回転したり／させたり、糸を紡ぐ様子「spinning」を組み合わせたものです。戦争や地震をはじめとする天災・人災は我々の日常風景を一変させてしまいます。昨今はそのような状況において、表現という手段で、世界に対し何を働きかけることが可能なのか考えさせられることも多くなっています。この秋に ACAC で開かれるアーティスト達によるオープンスタジオやワークショップ、展覧会などの様々なプログラムにご参加いただき、ひとりひとりが新たな景色を見出すきっかけになることを期待しています。

11月30日からは参加アーティスト、八幡亜樹、浅野友理子、マギー・チュウ、ベアトリス・ディディエの4名が展示形式で新作を発表します※。ACACからはじまるアーティスト達の活動をぜひご覧ください。

※マギー・チュウの展示は11月14日(木)から開催予定です。

[お問合せ] 青森公立大学 国際芸術センター青森:原田

Tel: 017-764-5200 Fax: 017-764-5201 Mail: [acac-1@acac-aomori.jp](mailto:acac-1@acac-aomori.jp)

Web: <https://acac-aomori.jp/>



Aomori Contemporary Art Centre  
国際芸術センター青森

## ■ 展覧会・イベントのご紹介

### ○展覧会 アーティスト・イン・レジデンス プログラム 2024 “SPINNING SCAPES”

会期 2024 年 11 月 30 日(土)–12 月 22 日(日) 10:00-18:00 会期中無休、入場無料

会場: 展示棟 ギャラリーA・B

公募により選出された 4 名のアーティスト(八幡亜樹、浅野友理子、マギー・チュウ、ベアトリス・ディディエ)が青森での滞在成果を展示形式で発表します。

※マギー・チュウの展示は 11 月 14 日(木)から開催予定です。



左上より時計回りで、

八幡亜樹《ベジューバルマクと呼ばないで//2022》2023 年 撮影:MIYOSHI Fumitaka、マギー・チュウ《Entwined Nexus - urban synapse》2024 年、ベアトリス・ディディエ《6 hours in silence》2022 年 撮影:N. Wagner-Strauss、浅野友理子《庭の球茎から島をなぞる》2021 年 撮影:SAGA Michihiro

### ○マギー・チュウ&浅野友理子 オープンスタジオ

日時:2024 年 10 月 26 日(土) 13:00-17:00

会場:創作棟 ワークショップルーム

申込不要、無料

普段はなかなか見ることのできないアーティストのスタジオを公開します。

### ○近藤亮介(ゲスト審査員)×参加アーティスト トーク

日時:2024 年 10 月 26 日(土) 14:30-17:00

会場:展示棟 ラウンジ

申込不要、無料、通訳有

今年度ゲスト審査員の近藤亮介氏と ACAC で滞在制作を行ったアーティスト 4 名が、青森での滞在や制作についてお話しします。※マギー・チュウは録画での参加となります。

### ○ベアトリス・ディディエ ワークショップ

日時:2024 年 12 月 8 日(日)

ベアトリス・ディディエさんによるワークショップを開催します。詳しい内容につきましては追って web サイトや各種 SNS 等で案内します。

\* プログラム期間中にはこの他にもイベント等開催予定です。また、展覧会・イベントは今後の状況により変更となる場合があります。最新情報についてはお手数ですが web サイトや各種 SNS 等をご確認ください。

[お問合せ] 青森公立大学 国際芸術センター青森:原田

Tel: 017-764-5200 Fax: 017-764-5201 Mail: [acac-1@acac-aomori.jp](mailto:acac-1@acac-aomori.jp)

Web: <https://acac-aomori.jp/>



Aomori Contemporary Art Centre  
国際芸術センター青森

## ■ アーティストプロフィール

### ○八幡亜樹 YAHATA Aki

1985 年東京生まれ、北海道育ち。東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修士課程修了。同専攻博士後期課程中退後、滋賀医科大学医学部医学科卒業。

フィールド調査や取材に基づく、領域横断的な美術作品の制作を行なう現代美術家。主なメディアは映像+インスタレーション。「(地理的/社会的/心身的な)境界」の概念を追求し、その一環として、近年では「手食」や「ロードムービー」に焦点を当てる。ロードムービーを VJ の手法で即興する試みなど、映像の多岐にわたる展開も探求する。2022 年より世界の手食文化をオンラインアーカイブするウェブサイト「手食」web を立ち上げ、主宰・編集。芸術により、人間の生命力を伸張する方法を思索・探究している。



### ○浅野友理子 ASANO Yuriko

1990 年宮城県生まれ。2015 年東北芸術工科大学大学院芸術文化専攻洋画研究領域修了。食文化や植物の利用を切り口に様々な土地を訪ね歩き、出会った人々とのエピソードを交えながら記録するように描く。主な個展に、「種の温床」(SNOW Contemporary, 2023 年)、「つづり思考」(風の沢ミュージアム, 2023 年)、グループ展に、「土とともに美術にみる〈農〉の世界—ミレー、ゴッホ、浅井忠から現代のアーティストまで—」(茨城県立近代美術館, 2023 年)、「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ 2022」(2022)、「青森 EARTH2019 いのち耕す場所 農業がひらくアートの未来」(青森県立美術館, 2019)など。「VOCA 展 2020 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」大原美術館賞受賞。



### ○マギー・チュウ Maggie CHU

1975 年香港生まれ。ニュー・サウス・ウェールズ大学で学士号を取得し香港で建築家として活動。その後 2021 年に RMIT 美術学校で美術学士号を取得。

ドローイングやコラージュ、彫刻などさまざまな手法を組み合わせ、場所に基づくアイデンティティを多角的に探究している。素材は多岐にわたり、ファウンドイメージ、テキスト、収集した工芸品などがある。チュウの作品は想像力とアーカイブとして現れる事実が混在しており、街並みというマクロなレンズから深遠な個人的体験まで、スケールの知覚を探求し、場所の内と間に横たわる歴史の語りを探求している。



### ○ベアトリス・ディディエ Béatrice DIDIER

1971 年生まれ。ブリュッセル王立音楽院で学び、様々なパフォーマンス・アーツのプロジェクトに携わる。2005 年に出会ったモニカ・クリングラーとボリス・ニエズロニーにより、ディディエの主要な表現媒体となるパフォーマンス・アートに導かれる。これまで、ソロまたはグループでの活動を通じて、ヨーロッパ各地、メキシコ、中国、インド、日本、ミャンマー等のギャラリー／美術館、プラットフォーム、フェスティバル、レジデンスでパフォーマンス上演、指導を行ってきた。2014 年以降、リンツの The Atelierhaus Salzam、ブリュッセルの 10/12、ブルクブロールの Kunstpavillon、そして成都の UPON festival で、自身のパフォーマンス・アート作品に関する展示を行ったことが、アクションやパフォーマンスと直接結びついたインスタレーション制作を始めるきっかけとなった。ディディエは、ベルギーを拠点とするパフォーマンス・アートのプラットフォーム、Ricochets のメンバー、ACTUS のキュレーター/共同設立者でもある。



## ■ ゲスト審査員プロフィール

### ○近藤亮介 KONDO Ryosuke

美術批評家、キュレーター。1982 年大阪市生まれ。ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン美術学部 (Slade School of Fine Art) 卒業。東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得満期退学。ハーバード大学デザイン大学院 (Graduate School of Design) フルブライト客員研究員、東京大学教養学部助教を経て、現在、東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科非常勤講師。専門は美学芸術学・ランドスケープ史。日英米の芸術・造園の研究を軸に、理論と実践の両面からランドスケープを生活環境として読み解く活動を展開している。編著に『セントラルパークから東京の公園を見てみよう』(東京都公園協会, 2023 年)、企画・キュレーションに「アーバン山水」(kudan house、2023 年)などがある。



## 開催概要

展覧会名 | 青森公立大学 国際芸術センター青森[ACAC] アーティスト・イン・レジデンスプログラム 2024 “SPINNING SCAPES”

プログラム期間 | 2024 年 10 月 2 日(水)–12 月 24 日(火)

展覧会会期 | 2024 年 11 月 30 日(土)–12 月 22 日(日)\*会期中無休、入場無料

※マギー・チュウの展示は 11 月 14 日(木)から開催予定です。

会場 | 青森公立大学 国際芸術センター青森 展示棟ギャラリー A・B (青森市合子沢字山崎 152-6)

開館時間 | 10:00–18:00 (展示棟ラウンジは 9:00–19:00)

その他 | 展示棟受付または事務室にて、ACAC の事業運営支援を目的とする「事業協力金(寄付金)」への協力をお願いしています。当館の活動をご理解いただき、ご寄附という形でみなさまの力強いご支援・ご協力をいただければ幸いです。

主催 | 青森公立大学 国際芸術センター青森 [ACAC]

協力 | AIRS(アーティスト・イン・レジデンス・サポーターズ)

助成 | 文化庁 令和 6 年度 文化庁 アーティスト・イン・レジデンス型地域協働支援事業

後援 | 駐日ベルギー大使館、青森テレビ、RAB 青森放送、青森朝日放送、青森ケーブルテレビ、エフエム青森、ABH ラジオ、コミュニティラジオ

オ局 BeFM、東奥日報社、陸奥新報社、デーリー東北新聞社

企画 | 原田桃望、瀬藤朋、慶野結香(ACAC 学芸チーム)

### 広報用画像について

作品および広報用画像(メインビジュアル等)を下記のリンク(Google Drive)からダウンロードしていただくことができます。作品画像を使用される際は、同じフォルダ内にあるクレジットをご確認いただき、必要情報をご明記のほどご協力お願いします。

また本展覧会、プログラムを取り上げていただく場合には、恐れ入りますが情報確認のため校正原稿をお送りいただき、掲載後には、掲載誌(紙媒体)、WEB リンク等をお送りください。

<https://drive.google.com/drive/folders/1GxjG-R15QgyFY4bCpBaIYSGWxLrYEtzu?usp=sharing>